

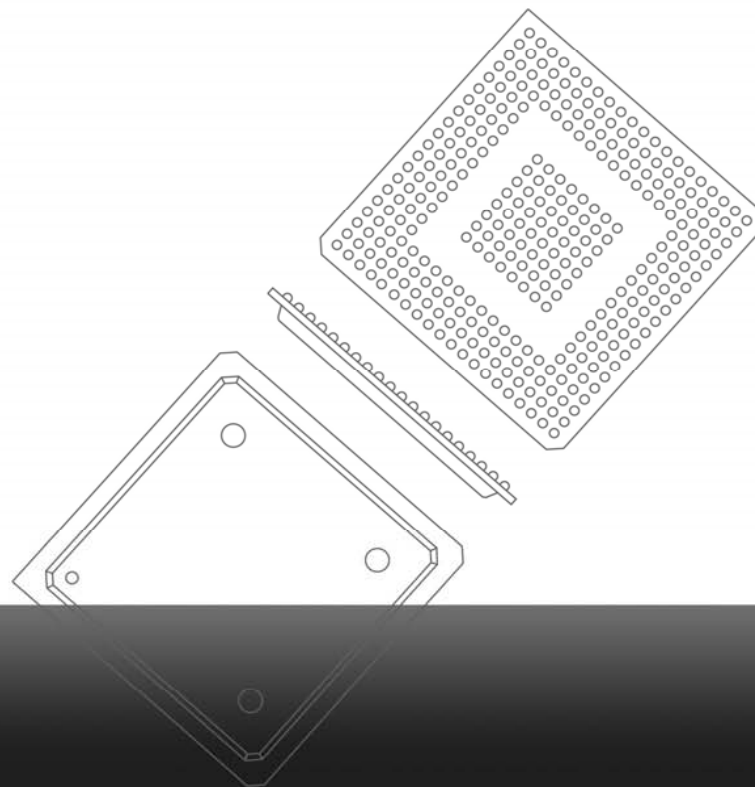
証券コード 6730

# 株式会社アクセル

## 2012年3月期(第17期) 決算説明会資料

代表取締役社長 佐々木 譲  
開示担当取締役 千代 進弘

2012年4月25日



## 第17期定時株主総会終了後、新体制へ移行

役職	氏名	担当
代表取締役社長	佐々木 譲	
常務取締役	市原 澄彦	
取締役	柴田 高幸	
取締役	千代 進弘	管理Gr GM
取締役	松浦 一教	技術Gr GM
取締役	斉藤 昭宏	営業Gr GM
社外取締役	鈴木 真巨	独立役員



役職	氏名	担当
<u>取締役会長</u>	佐々木 譲	
<u>取締役副会長</u>	市原 澄彦	
<u>代表取締役社長</u>	松浦 一教	
<u>代表取締役副社長</u>	斉藤 昭宏	営業Gr GM
取締役	柴田 高幸	
取締役	千代 進弘	管理Gr GM
<u>取締役(新任候補)</u>	蟹江 幸司	<u>技術Gr GM</u>
社外取締役	鈴木 真巨	独立役員

社外監査役	吉田 良樹	常勤、独立役員
社外監査役	三村 勝也	
社外監査役	五十島 滋夫	

社外監査役	吉田 良樹	常勤、独立役員
社外監査役	三村 勝也	独立役員
社外監査役	五十島 滋夫	独立役員

新体制移行の目的：経営層の世代交代の促進とガバナンスの強化

## 遊技機器市場の動向

低料金営業の普及等による遊技ホールの収益性の低下

定番機種・大型機種などの一部機種に需要が集中

遊技機器メーカーのコスト削減施策 → 基板レベルでのリユース(AG301に影響)

東日本大震災の影響は、ほぼ想定の範囲内で推移

タイ洪水による影響が一部顕在化

パチスロ機の人気回復傾向

## 組み込み機器市場の動向

海外輸出の産業用機器(建機、医療機器等)向けの需要は堅調に推移

(単位:百万円)

	当初計画	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	8,200	100%	8,362	100%	162	2%
売上原価	3,900	48%	4,091	49%	191	5%
売上総利益	4,300	52%	4,270	51%	△29	△1%
販売費及び 一般管理費	3,350	41%	3,087	37%	△262	△8%
営業利益	950	12%	1,183	14%	233	25%
経常利益	950	12%	1,215	15%	265	28%
当期純利益	550	7%	700	8%	150	27%

(単位:百万円)

	第16期	売上比	第17期	売上比	増減額	増減率
売上高	8,199	100%	8,362	100%	162	2%
売上原価	3,742	46%	4,091	49%	348	9%
売上総利益	4,456	54%	4,270	51%	△186	△4%
販売費及び 一般管理費	2,888	35%	3,087	37%	199	7%
営業利益	1,568	19%	1,183	14%	△385	△25%
経常利益	1,584	19%	1,215	15%	△368	△23%
当期純利益	1,043	13%	700	8%	△343	△33%

第17期末受注残 : 3,946百万円

当期より連結決算に移行しているため、前期の数値、増減額(率)は参考として個別決算の数値を掲載しております。以下同じ。

## 売上高8,362百万円(162百万円増収)の主な要因

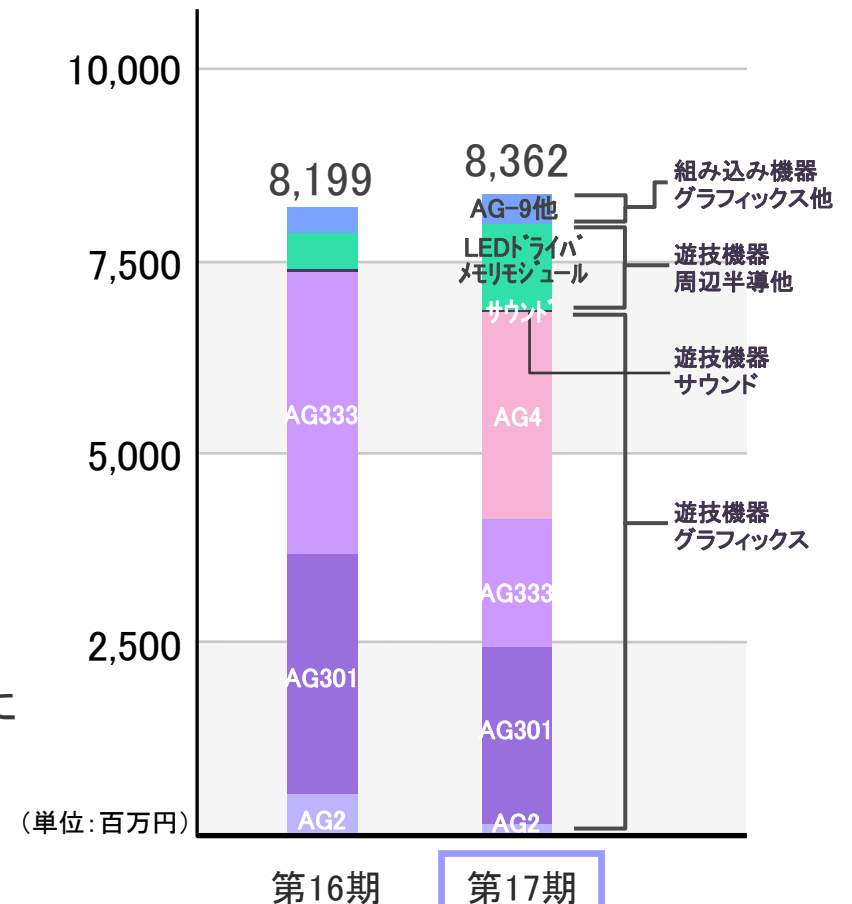
AMグラフィックスLSI: 6,828百万円(517百万円減)

- ・販売個数：142万個 → 119万個
- ・「AG4」への順調な移行

その他: 1,534百万円(679百万円増)

- ・サウンドLSI：統合化製品のサウンド機能取り込み、顧客の需要動向により減少
- ・LEDドライバLSI、その他：採用社数の増加、搭載機器の好調な販売
- ・EMグラフィックスLSI：海外向け産業用機器の需要に下支えされるも若干の減少

## 売上高(2期比較)



(単位:百万円)

	第16期	構成比	第17期	構成比	増減額	増減率
販売費及び一般管理費	2,888	100%	3,087	100%	199	7%
人件費	536	19%	516	17%	△19	△4%
研究開発費	1,767	61%	2,042	66%	274	16%
その他	584	20%	528	17%	△56	△10%

(単位:百万円)

研究開発費内訳	第16期	構成比	第17期	構成比	増減額	増減率
研究開発費 総額	1,767	100%	2,042	100%	274	16%
人件費	628	36%	646	32%	17	3%
試作開発費	557	32%	653	32%	96	17%
その他開発費等	581	33%	742	36%	161	28%

第17期の主な試作開発：AG11、AG5、無線関連

※その他開発費等には、委託研究開発費、システム開発費、研究開発人員にかかる一般経費等が含まれます。

従業員数の推移	第16期末	第17期末
従業員数	73名	74名
研究開発	43名	46名
品質保証	1名	1名
営業	8名	7名
管理他	21名	20名

研究開発人員	第16期末	第17期末
半導体(LSI)設計開発	14名	16名
ソフトウェア開発	20名	21名
システム開発	9名	9名
合計	43名	46名



(単位:百万円)

	第16期末	構成比	第17期末	構成比
流動資産	12,398	93%	12,169	95%
現金及び預金	6,428	48%	7,119	56%
有価証券	3,999	30%	3,999	31%
売掛金	853	6%	195	2%
その他	1,117	8%	855	6%
固定資産	934	7%	648	5%
資産合計	13,332	100%	12,817	100%
流動負債	819	6%	999	8%
固定負債	11	0%	13	0%
負債合計	831	6%	1,012	8%
純資産合計	12,501	94%	11,805	92%
負債・純資産合計	13,332	100%	12,817	100%

(単位:百万円)

	16期	17期
現金及び現金同等物の期首残高	13,309	10,427
現金及び現金同等物増加(△減少)額	△2,881	454
新規連結に伴う現金同等物増加(△減少)額	-	236
営業キャッシュ・フロー	△344	2,041
投資キャッシュ・フロー	△428	△222
財務キャッシュ・フロー	△2,108	△1,363
現金及び現金同等物の期末残高	10,427	11,118

営業キャッシュ・フロー関係

税引前純利益 : 1,175百万円  
 売上債権の減少 : 657百万円  
 たな卸資産の増加 : △400百万円  
 法人税等の還付 : 436百万円

投資キャッシュ・フロー関係

有形固定資産の取得による支出 : △156百万円  
 無形固定資産の取得による支出 : △66百万円

財務キャッシュ・フロー関係

配当金の支払額 : △1,361百万円

### 遊技機器市場の動向

国内経済の長期低迷、低料金営業の普及等による遊技ホールの収益性の低下

定番機種・大型機種などの一部機種に需要が集中

当社製品を含む遊技機器構成部品のリユース(再使用) → AG301に影響

パチスロ機の回復基調



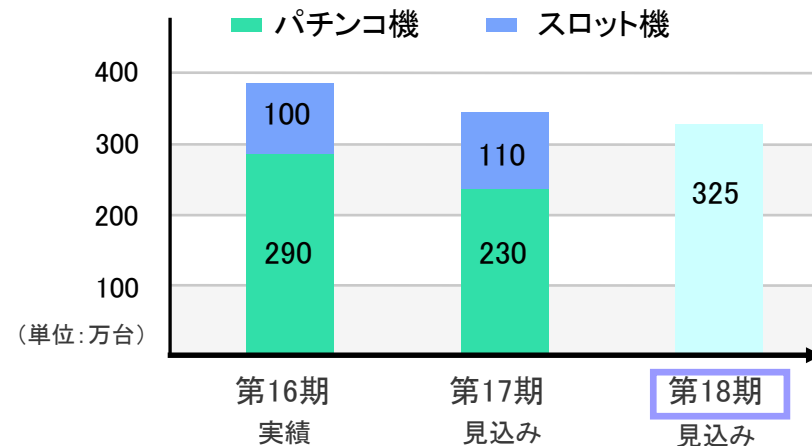
#### 第18期業績予想の前提

遊技機器年間販売台数 → 325万台

「AG301」のリユース → 50万個程度

AM-GLSIの販売個数 → 130万個

遊技機器年間販売台数の当社想定



※遊技機器の年間販売台数は、調査機関の公表データと当社分析による数字です。

(単位:百万円)

	第17期	売上比	第18期計画	売上比	増減額	増減率
売上高	8,362	100%	12,200	100%	3,837	46%
売上原価	4,091	49%	7,400	61%	3,308	81%
売上総利益	4,270	51%	4,800	39%	529	12%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	3,087 (2,042)	37% (24%)	3,450 (2,300)	28% (19%)	362 (257)	12% (13%)
営業利益	1,183	14%	1,350	11%	166	14%
経常利益	1,215	15%	1,350	11%	134	11%
当期純利益	700	8%	800	7%	99	14%

売上高 12,200百万円(3,837百万円増)を計画

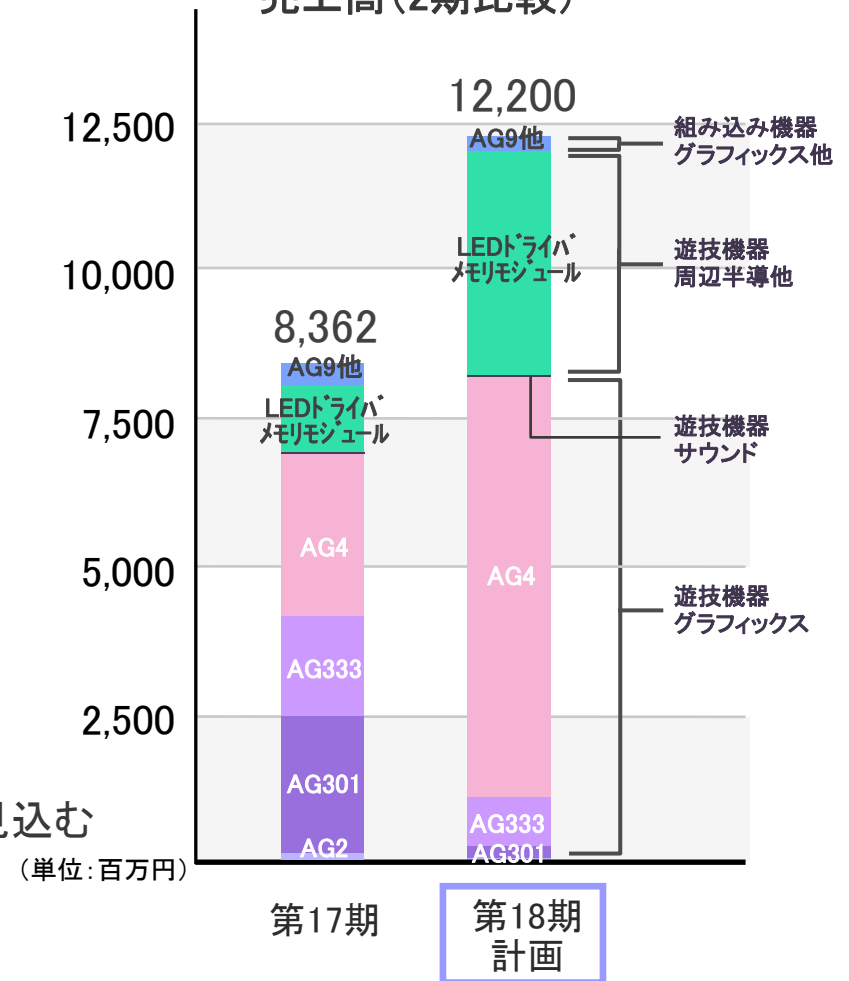
AMグラフィックスLSI: 8,160百万円(1,331百万円増)

- ・販売個数：119万個 → 130万個  
新製品への移行によるリユースの低減  
自然災害による影響の収束
- ・「AG4」への順調な移行

その他: 4,040百万円(2,505百万円増)

- ・サウンドLSI：統合化製品のサウンド機能取り込みにより減少  
※単体製品としての販売収束へ
- ・LEDドライバLSI：顧客の需要動向により減少
- ・メモリモジュール：特定顧客の需要により大幅増を見込む
- ・EMグラフィックス：現在の国内経済情勢を鑑み若干の需要減を想定

売上高(2期比較)



(単位:百万円)

	第17期2Q	売上比	第18期2Q	売上比	増減額	増減率
売上高	3,932	100%	7,000	100%	3,067	78%
売上原価	1,871	48%	4,400	63%	2,528	135%
売上総利益	2,061	52%	2,600	37%	538	26%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	1,452 (933)	37% (24%)	1,600 (1,030)	23% (15%)	147 (96)	10% (10%)
営業利益	608	15%	1,000	14%	391	64%
経常利益	634	16%	1,000	14%	365	58%
当期純利益	372	9%	600	9%	227	61%

中間売上高 7,000百万円(3,067百万円増)を計画

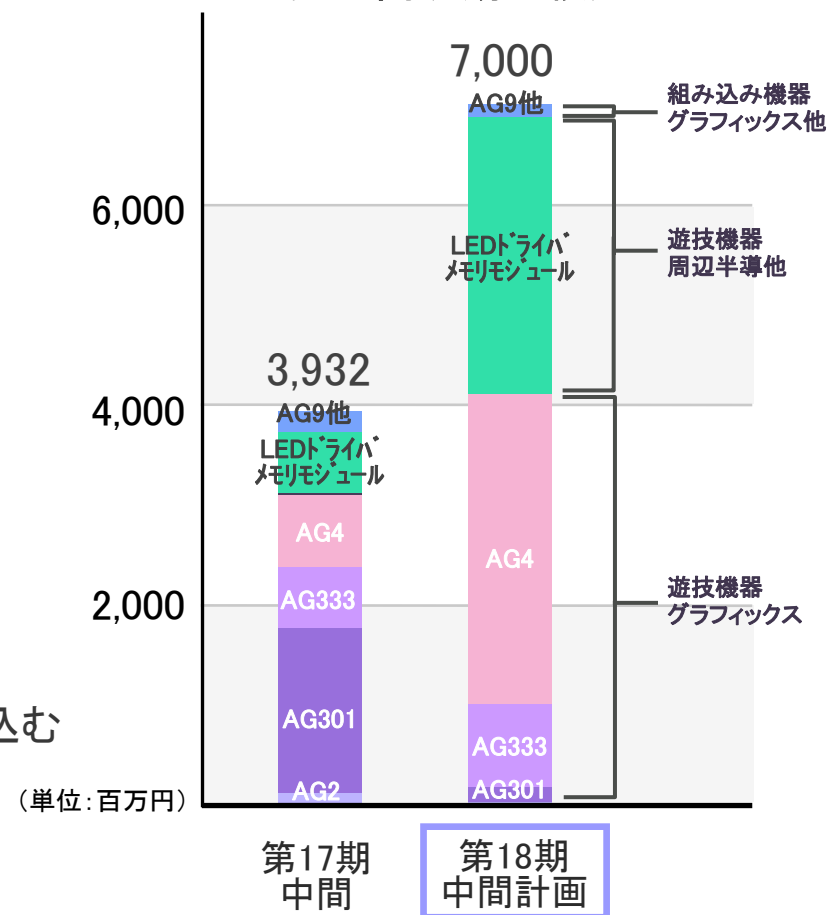
AMグラフィックスLSI: 4,110百万円(1,007百万円増)

- ・販売個数 : 58万個 → 65万個  
新製品への移行によるリユースの低減  
自然災害による影響の収束
- ・「AG4」への順調な移行

その他: 2,890百万円(2,059百万円増)

- ・サウンドLSI : 統合化製品のサウンド機能取り込みにより減少  
※単体製品としての販売収束へ
- ・LEDドライバLSI : 顧客の需要動向により減少
- ・メモリモジュール : 特定顧客の需要により大幅増を見込む
- ・EMグラフィックス : 現在の国内経済情勢を鑑み  
若干の需要減を想定

売上高(2期比較)



## 配当額の決定方針(変更なし)

株主還元については配当を基本として実施

業績に連動した配当の実施

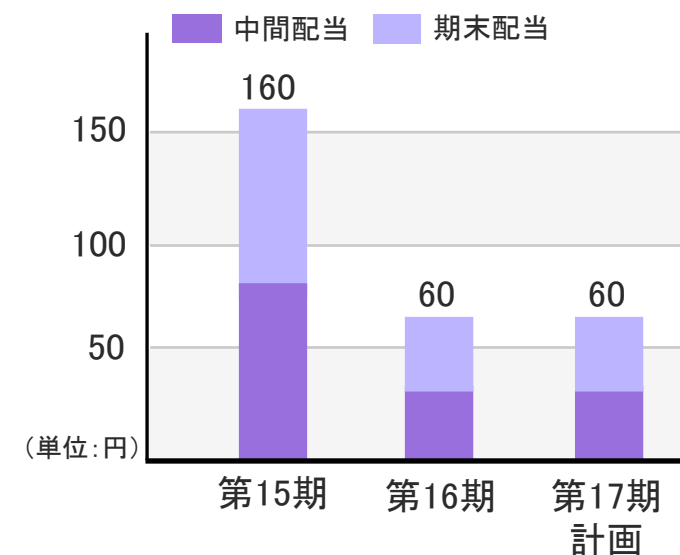
(配当性向主義:算定の基礎は単体ベース → 配当性向50%)

剰余金等の状況(販管費の3年分は内部留保)を勘案した上で、過年度の配当額を考慮した安定配当の実施

## 配当実施状況及び計画

	第16期	第17期	第18期計画
1株当たり配当額	160円	60円	60円
中間配当	80円	30円	30円
期末配当	80円	30円	30円
配当性向(単体)	190%	81%	72%
配当性向(連結)	-	106%	93%

## 1株当たり配当金の推移



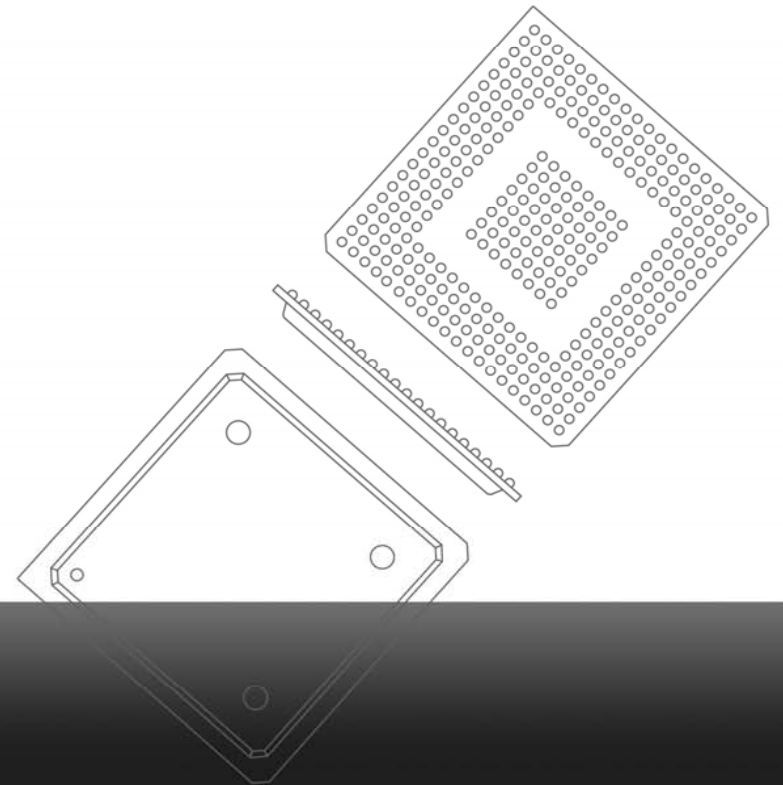


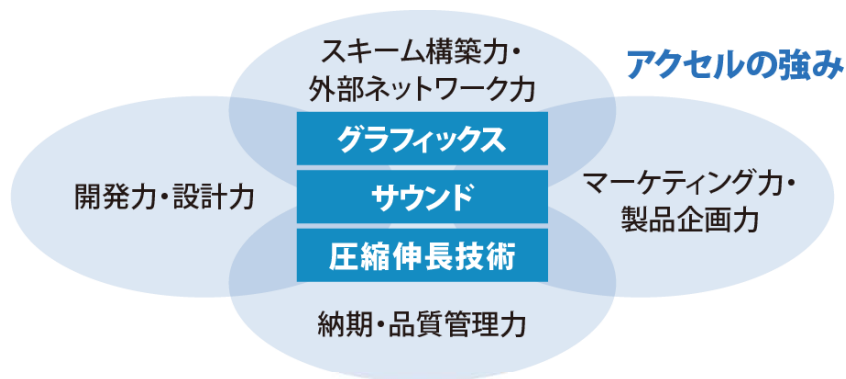
証券コード 6730

# 株式会社アクセル

## 今後の成長戦略

代表取締役社長 佐々木 譲





半導体技術を核とする新ビジネスの創出

子会社「ニューゾーン」を設立



## アクセルの事業領域

### 遊技機器市場

年間300万台~の大市場

パチンコ機

パチスロ機

機能統合LSI

グラフィックスLSI

サウンドLSI

その他周辺LSI

### その他組み込み機器市場

多種、小~中規模

POSシステム

医療機器

券売機

大型建機

FA機器

電子看板

情報端末

グラフィックスLSI

グラフィックスボード

## ニューゾーンの事業領域

### 既存市場に拘らない新市場の創出

将来性のある市場での先行開発

1stプロジェクト  
無線関連

市場A

市場B

市場C

市場D

市場E

市場F

各種LSI

ボード製品

最終製品

## 今後の遊技機器市場向け製品戦略

### 遊技機器のリユースを前提とした製品戦略を構築



#### グラフィックスLSIとしての基本機能の向上

- 圧縮・描画性能の向上により、ゲーム演出をより豊かにする

#### 顧客のシステムコスト低減

- 統合化チップの推進(基板サイズ縮小、共通部品の削減等)
- 圧縮性能の更なる向上(メモリコストの削減)
- システムを意識した製品開発

#### 顧客サイドの開発効率化

- 次世代開発支援環境を開発中
- 画像、サウンド、及びLEDツールを含めた統合開発環境の充実

## 組み込み機器市場向け製品戦略

AG9シリーズの拡販：着実な営業活動の継続

AG10 の量産：ターゲット顧客(POS、ATM等)向けの拡販活動を推進

- ・ボードベンダーとの関係強化(オムロン社、イノテック社、DUX社、DFI社等)
- ・技術サポートや保守の充実
- ・顧客の開発支援環境の提供(オーサリングツールの開発等)

AG11の開発：海外展開も見据えた次世代製品の開発

AG9シリーズの後継製品の開発を検討



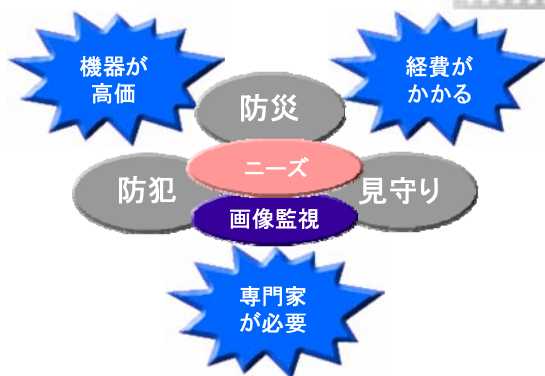
オーサリングツールの画面イメージ

## ニューゾーンの事業コンセプト

世の中になく新しいものを創造  
有用だが価格などで普及していない製品をリニューアルして製品化

### 第1弾プロジェクト: 無線関連

(アプリケーション例)



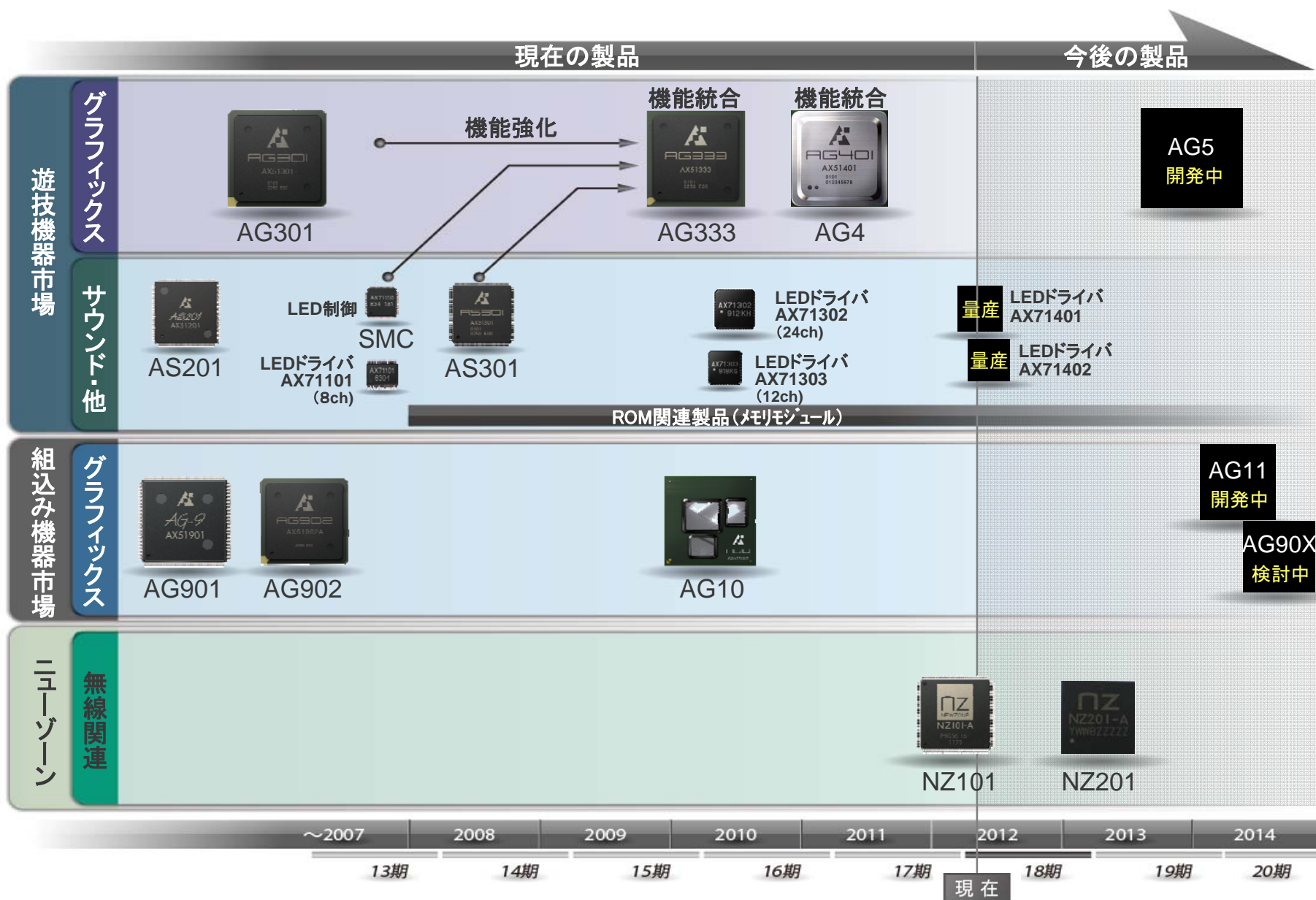
## NEWZONEの解答

LSI化による機器コスト低減  
デジタル簡易無線で通信費ゼロ  
資格と専門家が不要なシステム

## NZ101 + NZ201

高圧縮コーデック内蔵グラフィックスLSI  
無線機能のLSI化

⇒ 低価格な画像伝送システム



中期的な成長イメージ

中期的に連結ROE10%を新たな経営目標に設定

今後の成長ドライバ

遊技機器市場

「AG4」シリーズへの移行

「AG5」の量産(第20期以降の量産)

LEDドライバ、メモリモジュール等の周辺製品の開発販売

組み込み機器市場

「AG10」の販売

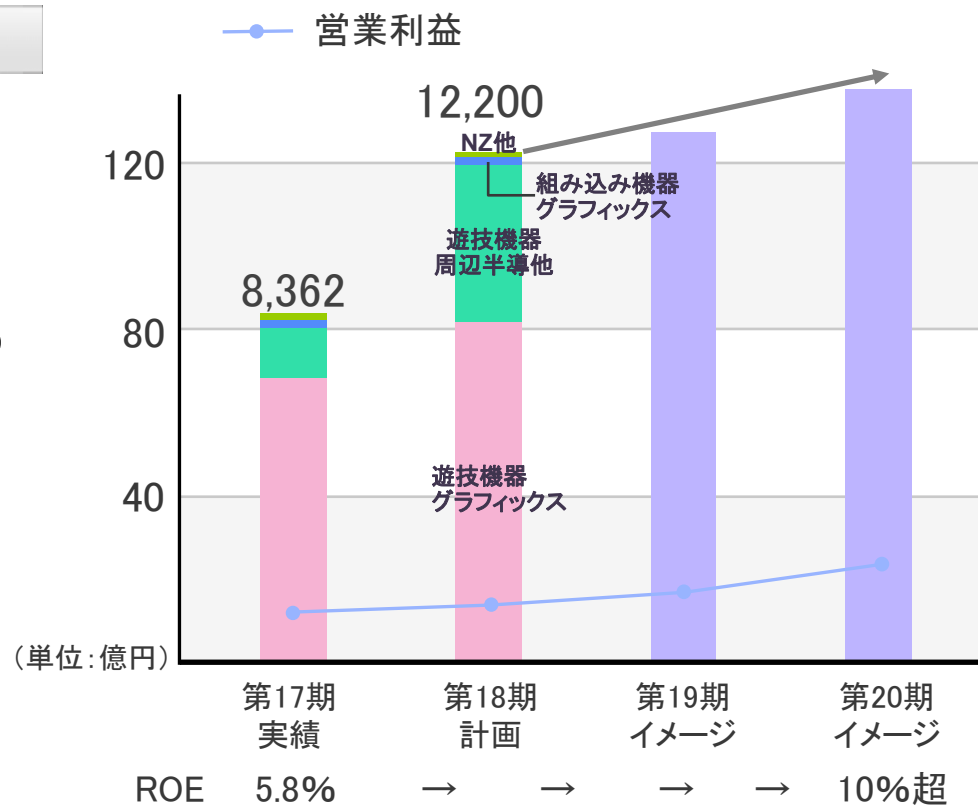
「AG11」の開発(第20期以降の量産)

「AG9」の後継製品の開発

子会社による新規事業開拓

デジタル簡易無線向け製品展開

その他分野への取り組み



※第18期以降の遊技機器の年間販売台数は325万台を前提に上記業績イメージを作成

本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複製することのないようお願い申し上げます。

